

スーパーコンピュータ Oakforest-PACS 運用開始記念式典の開催報告

東京大学情報基盤センター（センター長：中村宏）と筑波大学計算科学研究センター（センター長：梅村雅之）が共同運営する「最先端共同 HPC 基盤施設」（JCAHPC：Joint Center for Advanced High Performance Computing、施設長：中村宏）において日本最高性能に認定されたスーパーコンピュータ Oakforest-PACS の運用開始記念式典が 12 月 2 日（金）に設置場所である柏キャンパスで開催されました。同システムは 2016 年 11 月に発表された TOP500 性能ランキングにおいて国内第 1 位、世界第 6 位に認定されています。



式典には、文部科学省研究振興局長・小松弥生氏を始め多くの来賓、東京大学 五神総長、筑波大学 永田学長、及び開発に携わった多くの関係者が列席し、日本最高性能のスーパーコンピュータ運用開始を祝いました。中村宏施設長は式辞で、「スーパーコンピュータに対するニーズの高まりに対し、世界と肩を並べる計算能力を持ったマシンを運用することにより、共同研究や人材育成の現場において、より一層の社会貢献を行いたい。」と決意を述べました。今後、Oakforest-PACS は 2017 年 3 月末までの試験運用プログラムによる利用を経て、2017 年 4 月より各種共同利用・共同研究プログラムに供されます。



また、式典に先立って行われたシンポジウムでは、梅村雅之副施設長のあいさつに続き、筑波大学計算科学研究センター・副センター長 朴泰祐教授、理化学研究所計算科学研究機構・フラッグシップ2020 プロジェクトリーダー 石川裕氏、東京大学情報基盤センター 埴敏博准教授の講演が行われました。

式典・シンポジウムの様子



式典後には Oakforest-PACS の見学会も行われました。



(スーパーコンピューティング研究部門・スーパーコンピューティングチーム)